

広報 五戸

2003年 / 4月号 / Vol. 526

五戸地区消防団連合観閲式

5月3日(土) 7:30～

ふれあい通り
五戸小学校



— 各小・中学校で入学式 —

豊間内小のおにいさん おねえさん

よろしくおねがいします

町政の緊急かつ重要な

課題に取り組む

平成15年度当初予算決まる

少子・高齢化、情報化、環境問題の顕在化が進行するなど社会経済情勢は大きく変化し、行政課題が山積する中で、情報公開の推進、市町村合併など地方自治は新しい時代に対応した行政運営が求められています。



昨年度から開設した学童保育「なかよしクラブ」

町ではこのような時代の潮流の変化に対応するため、平成13年度に「第4次五戸町総合振興計画」を策定し、新たな一歩を踏み出しました。

一方、町の財政状況は多額の町債残高を抱えている中で、自主財源が少ないといった財政構造のせい弱さが続いています。今後財政の健全化に努めて、町政が抱える緊急かつ重要な課題に着手に取り組んでいくために、徹底した経費の節減合理化、事務事業の見直しなど町民の理解と協力を得ながらより簡素で効率的な行政運営の確立を図ります。

このことから、平成15年度一般会計予算については町税および地方交付税の確保に最大限の努力を払うとともに、国・県補助金などを活用しな

から歳入財源の確保に努め、歳出はコスト意識を念頭にあらゆる経費について聖域なく見直し抑制を図り、限られた財源を施策の優先度、重要度を重視して重点的かつ効率的に配分し、最重要施策として下水道事業の継続実施、総合病院の経営健全化を進めるほか、可能な限り町民の生活に密着した事業の推進に配慮しました。

事業費の配分では、桜沼地域用水環境整備事業など農業農村の生産基盤・環境整備、地場特産品研究開発推進事業など商工・観光振興対策、住宅建替プラン策定など定住化促進対策、学校図書充実事業など教育環境整備等、活気ある住みよいまちづくりに努めます。

(3～5ページ参照)

主な事業と一般会計

住んでみたい、住みつけたいまちづくり

・町道整備	1億9,653万円
・除雪対策	2,418万円
・上下水道整備	1億9,921万円
★住宅団地構想プロジェクト事業	26万円
・家庭ごみ収集運搬委託	3,872万円
・非常備消防団運営	3,973万円
・交通安全対策	212万円
・老人福祉施設入所措置	1,561万円
★身体障害者施設訓練等支援	3,840万円
★身体障害者居宅生活支援	485万円
★知的障害者施設訓練等支援	9,028万円
★知的障害者居宅生活支援	627万円
★延長保育促進	30万円

ふれあいと活気あるまちづくり

・農道整備	4,037万円
・農業振興	290万円
・輸入急増農産物対応特別対策	3,869万円
★生産振興総合対策	20万円
・農村整備	6,534万円
★農村振興整備支援	115万円
★手倉橋地区小規模治山事業	747万円
・商工振興	4,457万円
★あじな一品研究・開発推進	100万円
・緊急地域雇用対策	834万円
・国際交流	284万円

いきいき健康あふれるまちづくり

・各種検診	6,050万円
・生涯スポーツ振興	3,597万円
・五戸スポーツクラブ事業	100万円
・奨学金貸付	4,536万円
★個性あふれる学校づくり推進	40万円
★五戸未来塾	20万円
★海外派遣研修	50万円
★学校図書館図書充実	200万円
★地域と学校連携奉仕・体験活動推進	60万円
・社会教育振興	333万円
★豊かな心を育てる読書活動モデル事業	64万円

町のよさをはぐくむまちづくり

・中山間地域等直接支払制度事業	440万円
・伝統芸能継承活動	382万円
・町民文化講演会	418万円
・観光振興	1,437万円
★五戸地方観光特産品PR事業	100万円

みんなでつくる、誇れるまちづくり

・広報、カレンダー配付	614万円
・生活路線バス運行維持	1,120万円
・福祉バス運行委託	1,600万円
・市町村合併推進	1,454万円

★印は、新規事業

「交通死亡事故等多発非常事態」発令中

今年に入り、交通死亡事故が多発しています。
みんなで交通ルールとマナーを守り、交通事故のない明るい町をつくりましょう。

一 交通事故防止のポイント

- ◎いつでも、どこでも安全確認
交通事故の大半は、いつも通り慣れた道路で発生しています
- ◎急がず、せかさず安全走行
春の行楽ドライブなどで複数の乗員を巻き込む事故が発生する時期です
- ◎しない、させない飲酒運転
飲酒運転事故のほとんどは、軽度の飲酒によるものです



交通事故防止啓発活動

新教育長に高橋正之氏



4月1日付けで五戸町教育委員会教育長に高橋正之氏(60歳)が就任しました。
高橋氏は昭和41年教員とな

り、五戸中学校長を最後に本年3月31日付けで退職。この間、三戸町立大舌中学校長、田子町立田子中学校長、三八教育事務所教育課長などを歴任しました。
現在、家族は妻と母の3人家族で、3人の子どもは独立し、2人のお孫さんがいるそうです。趣味は読書、お酒はビール・ウイスキーを少々。なんばん味噌が好物とのこと。

子どもたちを交通事故から守ります



作業をする五戸小交通安全母の会の皆さん

五戸町交通安全母の会(北千代子会長)では、「新入学(園)児の交通事故防止運動」の一環として4月1日、交差点などに足型ストップマークの貼り付けを行いました。
この日参加した会員らは、古くなったストップマークをはがし、児童・園児の交通事故防止の願いを込めながら新しいストップマークを貼り付けていました。

みんなで創る活気あるまち「このへ」に向けて

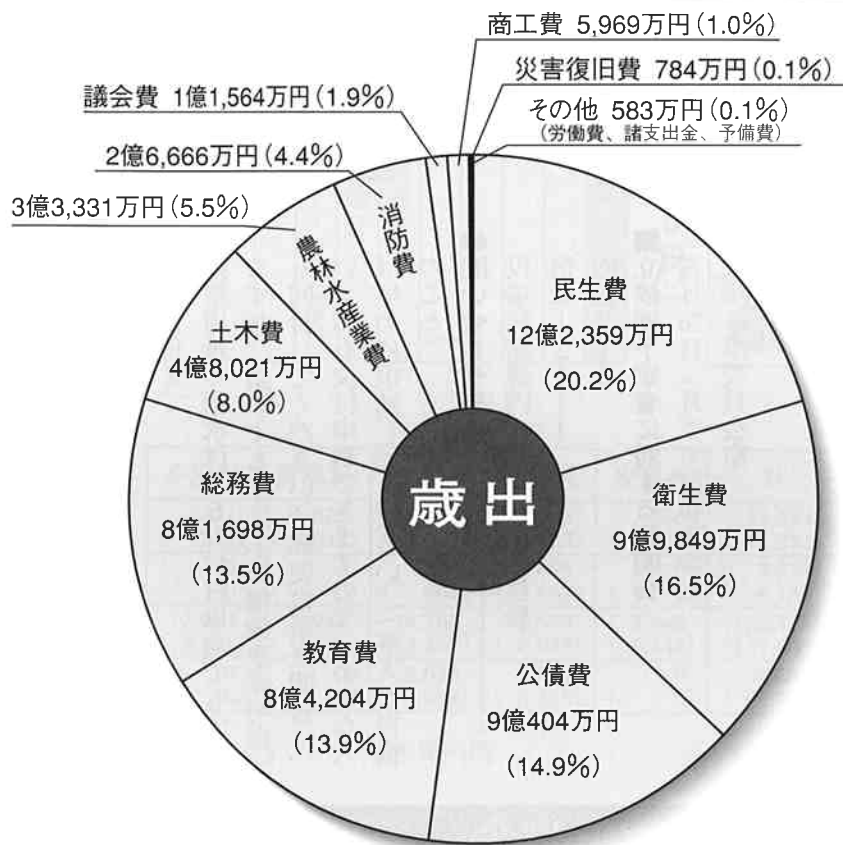
平成15年度一般会計予算

60億5,432万円

(前年度当初予算 61億950万円 0.9%減)

歳出

歳出では、町民の福祉充実のための民生費が12億2,359万円と最も多く、総額の20.2%を占めています。続いて、健康づくりやごみ収集などのための衛生費が9億9,849万円、下水道事業費が9億4,404万円、14.9%を占めています。以下、教育と文化のおおる町づくり



一般会計

町民1人あたりに使われるお金
332,144円 (前年対比 70円の増)

(注)「町民1人あたりに使われるお金」は、平成15年4月1日

	民生費	衛生費	公債費	教育費	総務費	土木費
15年度	67,127円	54,778円	49,596円	46,195円	44,820円	26,345円
前年対比	3,409円の増	618円の増	1,259円の増	1,279円の減	1,288円の増	263円の減
	町民福祉のため	ごみ処理や健康管理のため	政府などから借り入れた資金の返済のため	教育振興のため	庁舎管理・広報発行・選挙などのため	道路の建設・都市計画などのため

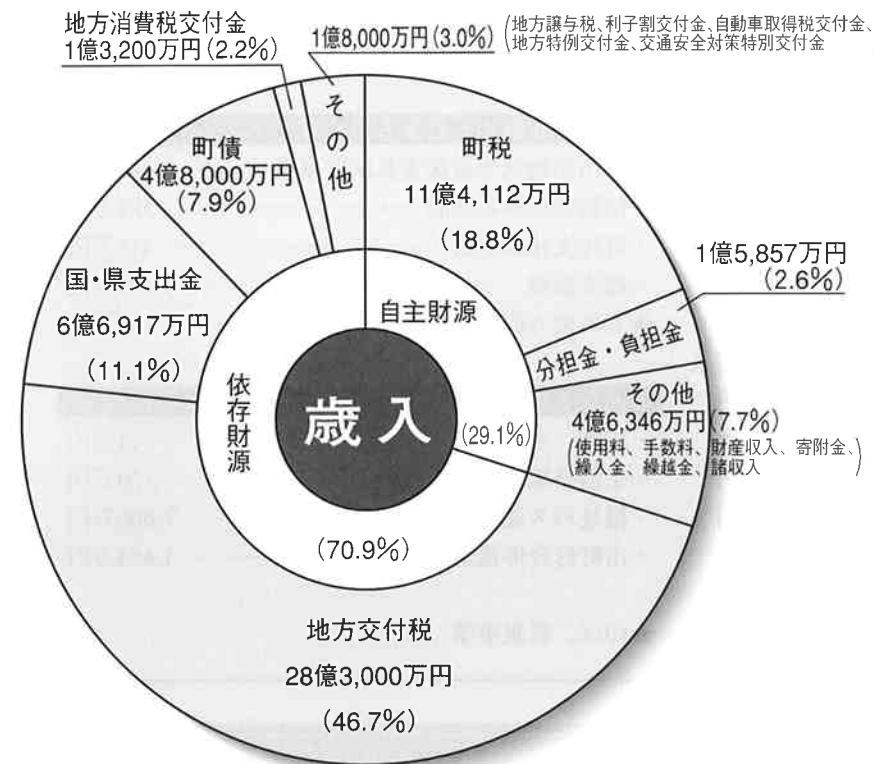
特別会計予算

老人保健	歳入・歳出——21億1,772万円
国民健康保険	歳入・歳出——19億3,637万円
介護保険	歳入・歳出——13億2,077万円
下水道事業	歳入・歳出——4億9,431万円
簡易水道事業	歳入・歳出——380万円

企業会計

病院事業	収益的収入——27億8,381万円	収益的支出——31億7,153万円	資本的収入——1億5,345万円	資本的支出——2億1,928万円
※不足額は一時借入金で措置				

歳入



1世帯あたり
1,048,912円 (前年対比 14,349円の減)

現在の町の人口 (18,228人)・世帯数 (5,772世帯) をもとに計算しました。

農林水産業費	消防費	議会費	商工費	災害復旧費	その他
18,286円	14,629円	6,344円	3,275円	430円	320円
1,890円の減	1,096円の減	59円の増	89円の増	1,737円の減	386円の減
農林業振興のため	安全を守るため	議会活動のため	商工業振興のため	災害復旧対策のため	労働費・諸支出金・予備費

平成15年度の一般会計予算は60億5,432万円、前年度当初に比べて5,518万円の減額(0.9%減)となりました。

歳入では、町の人口などに基いて国から交付される地方交付税が最も多く、総額の48.6%を占める28億3,000万円となっており、このほか国・県支出金や町債を合わせた依存財源は42億9,100万円となり、予算全体の70.9%を占めています。

17万円となり、予算全体の70.9%となっています。また皆さんが納める町税は11億4,112万円、総額の18.8%となっており、その他分担金や使用料・手数料などを合わせた自主財源は1億5,857万円となり、予算全体の2.6%を占めています。

6月22日投票 町長選挙

五戸町選挙管理委員会は、3月20日に開かれた委員会において、6月26日で任期満了となる五戸町長選挙について協議し、主な日程を決めました。

●投票日

6月22日(日)

●告示日

6月17日(火)

●立候補届出

6月17日(火)

午前8時30分から
午後5時まで

●選挙人名簿登録基準日

6月16日(月)

●登録日

6月16日(月)

●投票できる人は

昭和58年6月23日までに生まれた人で、平成15年3月16日以前から五戸町に住居登録をし、引き続き住んでいる人。

●不在者投票は

投票日当日、投票所に行つて投票できない見込みの人(出稼ぎ中の人、入院中の人、やむを得ない用務のある人など)が不在者投票できます。



○期間

6月17日から6月21日まで
(投票用紙の請求は、6月17日以前でもできます。)

●在宅投票は

身体に重度の障害がある人。
歩行が困難な人でその程度が一級から二級の人。
心臓や腎臓などの内臓に障害がある人で、その程度が一級から三級の人。

○請求期限

6月18日まで

投票用紙の請求は、6月17日以前でもできますが、請求する際に「郵便投票証明書」も同封してください。郵便投票証明書は、いつでも交付申請できますので、必要な人は早めに申請してください。(本人が自書のこと)

●問い合わせ先

役場総務課内 選挙管理委員会
TEL 62-2111
内線212

■立候補予定者に対する説明会

5月26日(月) 午前10時から
役場3階委員会室

五戸総合病院 地域総合医療の拠点に

五戸総合病院医師一覧表(5月)

診療科	職名	医師名	備考	
内科	副院長	新井田修久		
	科長	愛川 俊信		
	副院長	西谷 大輔		
	副院長	矢田部宏一		
	非常勤	東山 明弘	水曜日	
	非常勤	三浦 昌人	金曜日	
	非常勤	大根田 昭	第1・3火曜日	
	院長	蝦名 宣男		
	副院長	渡部 秀一	(科長)	
	副院長	佐々木 剛		
外科	副院長	長尾 宗紀		
	非常勤	井戸川敏彦		
	副院長	三上 靖隆		
	非常勤	(弘前大学)	第1・3・5金・土曜日	
	科長	深瀬 栄一	(医療技術局長)	
	非常勤	濱津 靖弘		
	非常勤	(弘前大学)	月・金曜日	
	非常勤	高橋 二郎	水曜日	
	非常勤	袴田真理子	火曜日	
	非常勤	王子 佳澄	水曜日	
小児科	非常勤	袴田真理子	火曜日	
	非常勤	阿部 尚央	金曜日	
	非常勤	井上 卓	土曜日	
	非常勤	(弘前大学)	月・木曜日	
	耳鼻科	非常勤	阿部 尚央	金曜日
		非常勤	袴田真理子	木曜日
		非常勤	阿部 尚央	金曜日
		非常勤	井上 卓	土曜日
		非常勤	(弘前大学)	月・木曜日
		皮膚科	非常勤	(弘前大学)

お知らせ
川内診療所の診療日が変わります
6月からは毎週月曜日の診療になります。

3月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		患者数	4,757 (5,195)	788 (965)	674 (734)	1,208 (1,325)	221 (211)	825 (1,039)	2,073 (2,047)	733 (602)	366 (154)
4月からの患者数	外来	57,771 (57,000)	9,367 (11,120)	7,444 (8,271)	14,081 (14,676)	2,902 (3,121)	8,984 (9,479)	24,760 (23,860)	7,659 (6,934)	3,448 (2,744)	136,416 (137,205)
	入院	37,554 (37,401)	7,242 (8,839)	3,574 (3,817)	502 (547)	0 (0)	0 (0)	8,046 (7,908)	6,749 (6,795)	0 (0)	63,667 (65,307)

※ 入院 = 毎日24時現在の在院患者延数 + 毎日の退院者数 () = 昨年度同期

農作業標準貸金

平成15年度農作業標準貸金を次のとおり決めました。皆さんのご協力をお願いします。

平成15年度 五戸町農作業標準貸金表(農業委員会)

種目	基準単位	貸金	種目	基準単位	貸金
アゼ塗り(機械)	1メートル当たり	30円	耕起(機械)	10アール当たり	3,000円
耕起(〃)	10アール当たり	4,000	長芋掘り(人手)	8時間	4,840
代かき(〃)	〃	5,000	トレンチャー	1メートル当たり	35
田植	人手	8時間	葉たばこ	8時間	4,840
除草	機械	10アール当たり	にんにく	〃	4,840
刈取	人手	〃	一般作業	〃	4,840
脱穀	人手	8時間	せん定	〃	9,000
	機械	10アール当たり	摘果・袋かけ	〃	4,840
	コンバイン	10アール当たり(結束付)	除袋・葉つみ	〃	4,840
		〃(結束付)	収穫	〃	4,840
		11,000	堆肥散布機	107-ル当たり(積込み含む)	5,000
		10,000			

※ この貸金はごく普通の農地についての貸金ですので、地域・その他の実情などを考慮し、この額を基準として両者で協議の上決めてください。

議会ニュース

町議会定例会(第24回)は3月6日から14日までの9日間の会期で開催しました。この議会では平成15年度一般会計予算などの30件の議案が審議され、原案のとおり可決されました。

今回の議会で決まった主なものを紹介します。

▼平成14年度補正予算

●一般会計

歳入歳出それぞれ1億3,628万8千円を減額し、予算総額を64億5,052万1千円としました。

●老人保健特別会計

歳入歳出それぞれ2億2,559万6千円を減額し、予算総額を21億1,508万円としました。

●国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ1,993万8千円を減額し、予算総額を18億9,103万8千円としました。

●介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ2,350万8千円を追加し、予算総額を12億9,224万9千円としました。

●下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1,106万円を減額し、予算総額を4億9,104万3千円としました。

●簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ108万6千円を減額し、予算総額を344万8千円としました。

●病院事業会計

収益的収支
収入総額30億6,278万5千円、支出総額32億1,341万3千円とし、1億5,062万8千円の収入不足となりました。

町職員の人事異動

4月1日付けで町職員の人事異動が行われましたのでお知らせします。

永年勤続の町職員を表彰

このほど町では、町職員として永年勤続した人たちを町職員表彰規定に基づいて表彰しました。(敬称略)

◆勤続30年以上

《役場》	小田川	泉中村	壯況久	悦子美	松巴	坂久えみ子
《総合病院》	高山	橋田	百合子	子博	瓦吹	綾子一
《広域事務組合》	舩沢	義博				

◆勤続20年以上

《役場》	田川	島村	栄美子	藤井	井るみ子
《総合病院》	佐々木	木家	由美子	竹洞	洋子
	類上	野上	敦子	小渡	百合子
	東	綾子	四美子		



文芸のく

〈川柳〉

新年に長寿夢みて健かに
 飲み干したビールに父のえびす顔
 晩酌に欠かせぬビール箱で買
 礼服を脱いでビールが旨くなる
 絵馬に誤字あつて神から没にされ
 プロの描く馬いななきが聞こえそう
 一頭も選れなかつた征馬の碑
 誘われた風に踊っているぶどう
 ぶどう狩り弾んだ児等の声響く
 ほかほかと落ち葉の道は兎にやさし
 落ち葉踏むころに詩が湧いてくる
 他人には見せない顔をひとつ持ち
 お互いに老けた惚けたと笑い合
 自分では出たと気付かぬ杭打たれ
 学ぶ森深く手探りばかりする

田代十志男 (上市川)
 綾子 (川原町)
 友子 (下毛沢向)
 か子 (天満後)
 晴天 (苗代沢)
 幸子 (ひばり野)
 丸実 (中津支幸)
 芳子 (竹原)
 春光 (荒町)
 禮子 (豊間内)
 恵子 (川原町)
 ツタエ (正場沢)
 マサ子 (豊間内)
 雪魚 (川原町)

鳥谷部せぬ (ひばり野)
 原竹木 (上市川)
 大久保あさ (切谷内)
 佐々木亮子 (上市川)
 館とく子 (切谷内)
 鈴木志美恵 (上市川)

〈短歌〉

日溜まりに春の顔みせふきのとう
 そつと手を触れこころも和み
 「ゆめあかり」誰が名付けの親なのか
 米政策に「ゆめくらい」日々
 五七五と指折りかぞえ七七と
 やつとまとめて喜ぶ爺さま
 寒水は華水だと古老は言う
 今年も精出し寒干しづくり
 冬ごもり春さきりくれば我園の
 花も萌え出で鳥も来鳴かん
 軽やかに小鳥ささやく花の歌
 桜のつばみほころびにけり
 八戸と五戸で携帯十三夜
 逢う瀬種差十六夜の海

橋ミネ子 (上市川)
 類家 清美 (切谷内)
 久保田義美 (切谷内)
 藤村 ナヲ (鍛冶屋窪)
 江渡 政 (荒町)
 原 はつゑ (上市川)
 中田善太郎

●皆さんの作品を「文芸のく」に発表してみませんか。
 川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。
 お待ちしております。

【参事・課長級】

参事・住民課長事務取扱	田中 猛	(参事・税務課長事務取扱)
参事・建設課長事務取扱	大西 眞一	(参事・議事事務局長事務取扱)
参事・出納室長事務取扱	川村 幸男	(参事・五戸地区広域事務組合事務局長事務取扱)
参事・五戸地区広域事務組合事務局長事務取扱	山田 孝雄	(参事・出納室長事務取扱)
税務課長	佐々木 崇	(教育委員会学務課長補佐)
総合病院事務局長	柿本 正幸	(建設課長)
議事事務局長	佐々木 十三	(住民課長)

【課長補佐級】

教育委員会学務課長補佐	高橋 勇悦	(産業課農林畜産班長)
教育委員会町立公民館長	大澤 正美	(教育委員会町立公民館長代理)

【班長級】

産業課農林畜産班長	奥山 謙二	(総務課総括主査)
浅田保育所主任保育士	中川原 洋子	(上市川保育所主任保育士)
切谷内保育所主任保育士	岩澤 せい子	(浅田保育所主任保育士)
上市川保育所主任保育士	中里 七代	(切谷内保育所主任保育士)
厚生課主幹	山田 典子	(農業委員会主幹)
地域保健センター主幹	松居 静子	(地域保健センター総括主査)
住民課主幹	高橋 勇	(教育委員会給食センター主幹)
産業課主幹	木村 和子	(下水道課総括主査)
下水道課主幹	大里 美代子	(産業課主幹)
切谷内保育所保育士	川端 秀子	(上市川保育所保育士)
上市川保育所保育士	巴 えみ子	(切谷内保育所保育士)

【総括主査級】

総務課総括主査	石田 博信	(総務課主査)
教育委員会学務課総括主査	高嶋 伸治	(教育委員会学務課主査)
教育委員会給食センター総括主査	松橋 勇一	(住民課総括主査)
農業委員会総括主査	川村 悦子	(建設課総括主査)

【主査級】

産業課主査	櫻井 篤史	(産業課主事)
産業課主査	三浦 清貴	(産業課主事)
教育委員会学務課主査	金澤 淳子	(教育委員会学務課主事)

【主事級】

総務課主事	中里 誠	(税務課主事)
-------	------	---------

【医療職】

総合病院副技師長	竹洞 義信	(五戸地区広域事務組合副技師長)
総合病院主任技師	寺澤 博幸	(総合病院技師)
総合病院准看護師	石田 利子	(五戸地区広域事務組合准看護師)
五戸地区広域事務組合主任技師	川崎 禎	(総合病院主任技師)
五戸地区広域事務組合主任准看護師	杉澤 玲子	(総合病院主任准看護師)

【技能職】

総合病院技能主事(4級格付け)	赤坂 千鶴子	(総合病院技能主事)
総合病院技能主事(4級格付け)	小笠原 せつ子	(総合病院技能主事)

【五戸町・倉石村職員人事交流】

倉石村へ研修派遣	大山 和歌子	(浅田保育所保育士)
浅田保育所保育士	小渡 むつ子	(倉石村から研修派遣)
五戸町教育委員会事務職員併任を解く	志村 要	(3月31日)

【新採用】

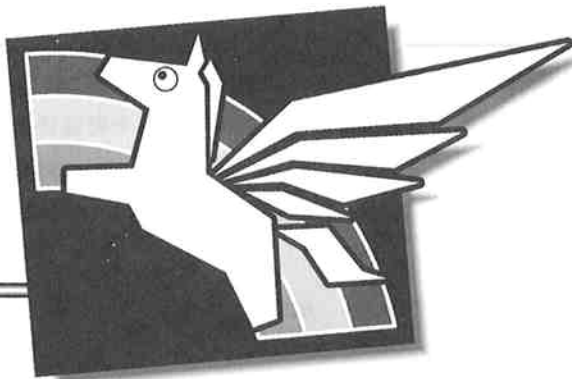
(行政職)	橋本 智春
地域振興課主事	川村 美智子
厚生課主事	山邊 公一
教育委員会社会教育課主事	宮野 奈津子
建設課主事補	疍崎 将一
総合病院主事補	

【退職】(平成15年3月31日付け)

(行政職)	前田 廣	(参事・総合病院事務局長事務取扱)
	三浦 たけ子	(浅田支所主幹)
	川井 敦子	(住民課主幹)
	三浦 幹子	(教育委員会社会教育課主幹)
	宇野 賢子	(厚生課主査)

(医療職)

遠藤 公人	(総合病院外科科長)
田守 律良	(総合病院技師長)
相内 ひろ子	(総合病院主任看護師)
田中 さた	(総合病院主任准看護師)



このへ
大空に夢をはこぶ町

五戸町職員募集

●職種および採用予定人員
上級行政(事務職)2名程度

●受験資格
昭和49年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれ、大学卒業程度の学力を有する者(活字印刷による出題に対応できる者)

●試験の日時、場所および試験方法など
○第1次試験
日時 平成15年7月27日(日)
場所 青森市
方法および内容 教養試験、専門試験

●受験手続
指定の受験申込書、履歴書を役場総務課に提出してください。

※受験申込書、履歴書用紙は、役場総務課・川内支所・浅田支所にあります。

●受付期間

平成15年5月1日(木)から平成15年5月30日(金)までの土曜日、日曜日および祝祭日を除く午前8時30分から午後5時まで

※郵送の場合は、5月30日(金)まで必着するよう投函してください。

●問い合わせ先

役場総務課
TEL 62-2111
内線 212

自衛官幹部候補生募集

●募集種目

一般・技術幹部候補生

●応募資格

20歳以上26歳未満の者(22歳未満は大学卒業または卒業見込みの者)

28歳未満の大学院修士学位取得者および自衛官

※海上技術幹部候補生は、理工学修士学位取得者に限り

●受付期限

平成15年5月9日(金)

●試験期日

1次

平成15年5月24日(土)

25日(日)

●申し込み・問い合わせ先

自衛隊八戸募集事務所

TEL 45-1920

自衛官募集相談員

川村菊之蔵 TEL 62-2971

福田 馨 TEL 62-2419

中川原良治 TEL 62-4301

小泉 昌明 TEL 62-5491

保育所への苦情等
申出窓口を設置

町立の各保育所では利用者からのご意見・ご要望あるいは苦情などに適切に対応するため、申出窓口を設置しました。苦情などは面接・電話・書面などにより随時受け付けし、相談解決責任者と第三委員が解決にあたります。また、直接第三委員に申し出ることでもできます。

●申出窓口・問い合わせ先

浅田保育所

TEL 67-2031

切谷内保育所

TEL 68-2204

上市川保育所

TEL 68-2205

●第三委員

平野 光子

大字浅水字浅水 110

TEL 67-2605

新井山 妙子

大字切谷内字切谷内村 11

TEL 68-2256

佐々木 リウ子

大字上市川字沼廻 11-5

TEL 68-2411

行政相談をご利用ください

総務庁は、本町の行政相談委員に佐々木秀雄氏を4月1日付けで委嘱しました。任期は2年です。



佐々木秀雄氏

みなさんが毎日の暮らしの中で、行政の行う仕事についての意見や要望・苦情などがあつたとき、もつとも身近な相談相手になるのが同相談員です。

五戸町字館5
TEL 62-3301
の同相談委員へ。

いつもそばにいます
民生委員・児童委員

「言うことを聞かない我が子に手を上げてしまう」、「高齢者の親の介護に疲れている」など子育ての不安や老後の心配等、私たちを取り巻く心配ごとがはつきりしません。

そんな心配ごとを解決していくのが法律により設置された民生委員・児童委員です。困った時はぜひ民生委員・児童委員にご相談ください。秘密は守られます。

●問い合わせ先

役場厚生課
TEL 62-2111
内線 125

農用地区域内に
建物を建てる方へ

「農用地区域」内の土地に、住宅・事務所・倉庫・資材置き場などや農業施設の建築を計画している場合は、その土地を「農用地区域」から除外しなければなりません。

除外の申請から認可まで約6〜8カ月の期間がかかりますので、計画のある方は早めに申請してください。申請の受付は、9月と3月を予定しています。

●問い合わせ先

役場産業課
TEL 62-2111
内線 235

青森地方法務局
からのお知らせ

青森地方法務局八戸支局では、5月12日から五戸町の不動産の登記事務をコンピューターにより取り扱うことになり、従来の登記簿の謄本・抄本および閲覧の取り扱いが、次のとおり変わります。

①謄・抄本に代わる「登記事項証明書」の発行
②閲覧制度の廃止、その代替措置として「登記事項要約書」の発行

●問い合わせ先

青森地方法務局
八戸支局登記部門
TEL 24-3346

5月の行事予定

●町民カレンダーと合わせてご利用ください。
●行事についての問い合わせ
TEL 62-2111 五戸町役場

- 3日(土) 五戸地区消防団連合観閲式
- 3日(土) ミニミニシアター
13:30~ 町図書館
- 4日(日) 第34回五戸地方マラソン大会
8:45~ 五戸小学校
- 10日(土) 古典文学講座
13:30~ 町図書館

5月の献血

健康なあなたと
私にできること

- 30日(金) 成分献血
予約制となっていますので希望する方は役場厚生課献血担当係(内線125)まで

5月の相談

相談は無料です

- 9日(金) あすなろ教室
13:00~17:00 町立公民館
- 20日(火) 心配ごと・行政相談合同相談
13:30~16:00 社会福祉センター
- 22日(木) 浅田地区健康相談
13:00~15:00 役場浅田支所
- 22日(木) 行政相談
13:00~15:00 商工会館
- 28日(水) 移動年金相談
10:00~14:00 役場
- 毎週木曜日 健康相談
13:00~15:00 地域保健センター
- 交通事故相談(八戸支所)
毎週月曜日から金曜日
9:00~16:00 県八戸合同庁舎2階
- 交通事故巡回相談所
13日(火) 10:00~15:00
26日(月) 八戸市市民相談室

郷土探訪

橋の今昔譚
「荷軽井・手倉橋地区」

「荷軽井橋」

浅水川沿いの荷軽井地区には江戸時代から上荷軽井橋（高田―下姥沢）と下荷軽井橋（鉢森―荷軽井）の2つの橋があった。近年には農道への橋がもう一つできています。



昭和47年完成の下荷軽井橋

享保8年の肝煎りは久六、安政4年久之助、山守は久作、老名は弥之助らが地区の治安

維持に努めている。

安政3年7月23日の大地震、昭和43年5月16日の十勝沖地震ではがけ崩れが発生。川や用水路が埋没し、堂ヶ前寄りの田んぼが一面海のようにになり、しばらく車やバスは通行不能となった。34年過ぎた今は、橋も道路も立派な姿に変わっている。

「手倉橋」

手倉橋は小さい地区だが橋が5つもあり、五戸町では一番多いという。江戸中期の文に「野沢川（現浅水川）の北を本区とし、家数39軒、川の南に住するを川向といつて家数19軒・・」と記す。また、明治初期の新撰陸奥国誌の記録では、籠田橋・中ノ橋・下ノ橋・全山向橋（土橋）の4橋があった。しかし、世の中の流れとともに名称が変わっ

ている。

- 東手倉橋 昭和61年8月改修
- 西手倉橋 昭和35年11月改修
- 南手倉橋 昭和30年10月改修
- 北手倉橋 昭和38年3月改修
- 西手倉橋 平成9年3月改修



地区への入口 手倉橋

古くから開けた地区で、村の南方2キロメートルの地点に高さ240メートルの山があり、その山頂には少彦名神社（旧峯薬師堂）がある。北の門前といわれ、参拝の旅人も多かった。明治以降は国道4号も通っていたが、戦後、手倉橋から剣吉へと変わったことから交通量は減少、静か

になった。

前手倉橋自治会長の戸賀沢光彌さん（78）は「子どものころの浅水川は川辺が浅く、洗濯場や私たちの遊び場となっていました。橋は丸太の土橋で水面から近いので、大雨のたびに流されてしまいました。昔は、秋田方面からの人足がここを休み場所としていたそうです。また、明治3年には会津のお侍さんがたくさん来て、各家庭に泊まったそうです。どんなことをして生活していたか知りたいのですが、古い話を知る年寄りが亡くなって聞くことができなくなりました。」と残念がる。

「柵館橋」

手倉橋と関口の間で浅水川用水路の頭首工がある。昨年の7月11日、台風6号の増水によって人命が失われ、付近一帯は大きな被害に遭った。

その下流に浅水川唯一の土橋「柵館橋」がある。橋の左側に「1トン以上の車馬は通行禁止」の標識があった。関口地区と耕作地を結ぶ農道で取り壊しが予定されている。



通行止になっている柵館橋

珍しいので竣工年月日を探したが不明のまま。
五戸町文化財審議委員
三浦 榮一

町の人口		6月の納期	
(前月対比)		納期限 6月2日	
男	8,848人 (-53)	軽自動車税全期納期限	
女	9,380人 (-47)	固定資産税第1期納期限	
総人口	18,228人 (-100)		
世帯数	5,772世帯 (-9)		
平成15年4月1日現在			